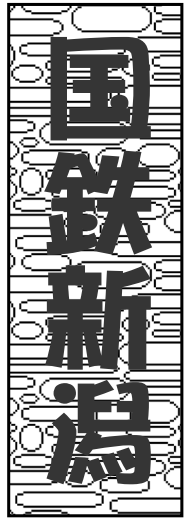


# 加茂・帝京の一方的な不当解雇 不当労働行為



## にいがた私学争議団 支援共闘会議結成大会



にいがた私学争議団支援共闘会議結成大会

十一月十七日に新潟市『学生総合プラザSTEP』で十三時三十分より、にいがた私学争議団支援共闘会議

の結成大会が開催され県内各地から七十名を超える労働組合・民主団体の代表者が結集しました。大会では、経過報告・役員選出の要請は断れない、国鉄闘争の支援があった。二十年間闘ってきた。攻撃は国鉄闘争と同様な攻撃がされている。不当な解雇・差別、労働者として譲れない。勝利するまで闘う。』とあいさつがありました。



結成大会



開会オープニングでは、新潟市の舟江瑞祥太鼓サークルの和太鼓の演奏もあり大会を盛り上げました。連帯あいさつでは、小村英一全国私立学校教職員組合連合中央執行委員長・今井道雄全国私学争議団会議事務局長のあいさ

NO. 620  
発行  
07・11月29日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教宣部



## にいがた私学争議団 支援共闘会議役員

- ★会長 谷正比呂  
前全国私立学校教職員組合連合執行委員長
- ★副会長  
七里明夫・県労連財政部長  
守橋久仁雄・国労新潟地本執行委員長  
熊谷直樹・公立公教組副委員長  
石崎誠也・新大職組・委員長
- ★事務局長  
渡辺利宏・私教連書記長
- ★事務局次長  
鈴木顕・私教連書記次長
- ★幹事  
高橋勤・地区労連事務局長  
藤井明人・国労新潟地本執行委員  
坂井雅博・水道労組書記長  
福島シズエ・新日本婦人の会  
新潟県本部会長

### ★にいがた私学争議団支援共闘会議参加団体

- 新潟大学職員組合 ●公立高等学校教職員組合 ●国労新潟地方本部 ●新潟水道労働組合 ●新潟日報労働組合 ●新潟県私立学校教職員組合連合 ●新潟県労働組合総連合 ●新潟地区労働組合総連合 ●新日本婦人の会新潟県本部



つ、建交労形崎委員長からそれぞれあいさつがありました。そして、国労新潟地本・守橋委員長の連帯のあいさつは『私教連からの要請は断れない、国鉄闘争の支援があった。二十年間闘ってきた。攻撃は国鉄闘争と同様な攻撃がされている。不当な解雇・差別、労働者として譲れない。勝利するまで闘う。』とあいさつがありました。



## 経過報告について

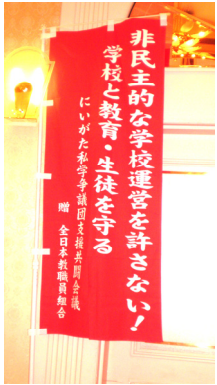
経過についての報告は私教連の渡辺書記長から説明がありました。

## 幅広い闘いに 私教連・渡辺書記長

私教連だけでなく幅広い闘いにしていく。多くの支援団体・労働組合と闘い、勝利していく。当面は県内私学の攻撃について支援を行っていく。加茂暁星と帝京長岡が中心になっていく。

## 整理解雇・団交拒否

団交では、加茂暁星人件費を削減するため非常勤講師を整理解雇した。帝京長岡学内では団交を拒否時間制限を強制した。学園側の言いなりで団交拒否が続いている。不当労働行為で訴えたら印刷機が使用禁止になった。



その報復で『父母の会』の加入をさせない。掲示板についても制限させられる。帝京長岡は、労働組合をつぶす体質になった。組合側が力をつけると抑える攻撃がある。組合つぶしが本格的になった。ボーンラス査定は高額に差別をしている。基本が明確でない。組合員に対してマイナス査定が厳しい状況だ。組合差別。不当労働行為が多くある。教育への波及。多くの学校へも影響がある。そのことを主張・訴え結成した。渡辺書記長から詳しく状況が説明されました。

組合つぶし本格的に



渡辺書記長

大きな支援を



- ★加茂暁星高校争議団
- ★赤井先生

非常勤講師も専任の先生も同様に呼ばれたい。誇りを持ってがんばっていく。一方的に解雇通告された、そのため専任の先生に対して労働強化となった。専任の先生にしよせ。解雇撤回と学園の民主化に向けてがんばっていく。

- ★山田先生

多くの仲間・支援団体のささえ励ましがあつた。闘っていく。裁判の提訴へ準備を進めている。学園のうそ・言い逃れ、一方的解雇。専任教師への授業の持ち時間が多くなった。非常勤講師の時間数を無くし解雇してきた。大きな支援と共闘をお願いしたい。

民主化に向けてがんばっていく  
解雇撤回と学園の

組合が組合らしく  
学校が学校らしく  
するために闘う



- ★帝京長岡高校争議団

地労委提訴しなくても内部で解決したかった。団交で少しではあるが改善があつたが突然、一方的な攻撃が行われた。教師が年齢によって二つに分けられた。教務室が二つ、カギで施錠させられ相互に行くことができない。

闘いは始まったばかり、組合が組合らしく、学校が学校らしくするために闘う。

帝京長岡高校争議団  
争議代理人

- ★土屋俊幸私教連  
顧問弁護士

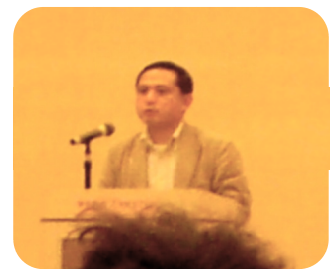
帝京グループ・全国的な支援の中で取り組んでいる。多くの争議など経験から学んだ。相手の出方を察知して機敏に対応していく。全国の情報を集中させる。子供じみた不当労働行為をやっている。数は力だ、大きな力を増やして、労働組合を増やして力をつけていく、課題として。難しい事件だが以前に締結した内容・確認書を守らせる闘いを進めていく。東京を攻め、そして本丸攻めをしていく。



加茂暁星高校争議団  
争議代理人

- ★金子修弁護士

どういう角度で見るか～人権が守られているか。人権は弱い人のためのもの、きちっと主張する。山田さんと赤井さんの人権を守る。18年間契約していたが突然解雇通告があつた。勝利するまで闘う。



結成大会は私学争議団の紹介・決意表明が、それぞれ代表からありました。そして、結成大会宣言を提案採択し役員を選出を行いました。会長には、前全国私立学校教職員組合連合中央執行委員長の谷正比呂氏が就任しました。

私学争議団